

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103946
法人名	有限会社 ベターライフ・U
事業所名	グループホーム四葉のクローバー
所在地	松山市石風呂町甲 1014番1
自己評価作成日	平成24年6月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年7月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員は、理念・基本方針のもと日々、利用者様が一番、利用者様の立場になってをモットーにケアにあたっている。季節感を感じて頂く為、行事、外出には力を入れている。職員は新しい場所を探す、その場所のトイレ・バリアフリー状態など積極的に事前調査に行き、より安全により楽しく過ごして頂く様努力している。日々の暮らしの中では、一年を通して 天気の良い日のお散歩、外気に触れて頂き、肌で季節感を味わって頂く。G.H四ツ葉の畑で旬の野菜を収穫し、調理している。収穫には、利用者様にも参加頂いたり、下ごしらえを手伝って頂いたりしている。手伝いについても、利用者様がやってみたいという思いを大切に、見守りながらして頂いている。今、出来ていることが、継続出来るよう、日常生活の中で自然と取り組めるようにしている。職員は、外部研修にも積極的に参加し、サービス向上に努めている。利用者様の思いを受け止める事が出来るケアを目指し努力している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

● 日常的には、ほぼ毎日のように全員の方が交代で事業所周辺を散歩されている。調査訪問時、帽子をかぶり、職員と一緒に散歩に出かけていく利用者の様子がうかがえた。月に1度は、全員で外出できるよう計画を立てておられる。  
● 運営推進会議には、地域の方やご家族、利用者にも参加していただいている。ご家族は、ユニット毎に一人ずつ毎回違ったご家族に参加していただけるようお誘いし、利用者はなるべくご家族と一緒に参加できるよう配慮されている。又、職員も交代で参加することにより、地域の方にも顔を覚えていただけるよう取り組まれている。以前に、メンバーから、「夜間の様子を知りたい」との希望があったことをきっかけに、利用者の起床時や夜間の様子、一週間の食事等についても画像で紹介された。ご家族からは、「こんなことまでしていただいているのですね」と感謝の言葉をいただいた。

## V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム四葉のクローバー

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)  
氏名 対馬 優子

評価完了日 平成24年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p><b>(自己評価)</b></p> 全職員が常に理念カードを携帯し、毎朝朝礼で復唱している。理念に添って行動、同じ方向性で支援出来る様努めている。 <p><b>(外部評価)</b></p> 「健康・愛情・幸福・希望」を、事業所理念に揚げておられ、「元気で生き生きと生活していただきたい」という法人の考えのもと、事業所では、お天気が悪くない時には毎日、散歩に出かけられるよう取り組まれている。ユニット毎に年間目標を決め、又、職員も、個々に目標を立て、3ヶ月毎に振り返り、管理者がコメントを書いたり面談して、個々に目標を達成できるよう応援されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p><b>(自己評価)</b></p> 散歩や掃除の時には、挨拶するよう心がけている。地域の活動にも参加(防災フェスティバル、盆踊りなど)小学生が訪問、交流を持っている。運営推進会議にも地域住民の方に参加頂いている。 <p><b>(外部評価)</b></p> 地域の公民館活動で、公民館にて「ミニコンサート」等、定期的に保育園児と交流する機会があり、数名の利用者が、職員と一緒に参加されている。地域の小学校から依頼があつて、昨年度より、2~3ヶ月に1度、ユニット毎6名ほどの児童が来てくれており、紙芝居をしたり、利用者とお話して交流されている。毎回、同じ児童が来てくれることもあつて、顔なじみとなり、利用者の楽しみとなっている。管理者は、「地域行事への参加を続けていくことで関係を作り、運営推進会議に地域のいろいろな方に参加していただきたい」と話しておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p><b>(自己評価)</b></p> 運営推進会議の中で、写真(パーポイント)を使用し、ホームでの生活を紹介している。今回 防災訓練、捜索訓練に地域の方にも参加頂いた。見学だけだったので、今後は一緒に訓練を受けて頂けるように工夫が必要だと思う。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 毎回テーマをきめ、プロジェクターを使用し、日々の生活、行事報告をしている。運営推進会議には、利用者様家族様にも参加して頂き、ご意見ご要望をお伺いしている。地域の方の参加により、地域の行事、取り組みなどもお聞きしている。	
			(外部評価) 会議には、地域の方やご家族、利用者にも参加していただいている。ご家族は、ユニット毎に一人ずつ毎回違ったご家族に参加していただけるようお誘いし、利用者はなるべくご家族と一緒に参加できるよう配慮されている。又、職員も交代で参加することにより、地域の方にも顔を覚えていただけるよう取り組まれている。以前に、メンバーから、「夜間の様子を知りたい」との希望があったことをきっかけに、利用者の起床時や夜間の様子、一週間の食事等についても画像を使って紹介された。ご家族からは、「こんなことまでしていただいているのですね」と感謝の言葉をいただいた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で現状報告している。包括支援センター、市介護保険課、社会福祉協議会の職員の方に参加頂いている。意見や情報提供を頂いている。また、包括支援センタースタッフと利用者様と一緒に防災のちぎり絵を作成、展示した。	
			(外部評価) 昨年の市社協主催の「介護の日」のイベント時に、「何か協力してほしい」との話があり、防災訓練の様子をちぎり絵を利用者と職員、地域包括支援センターの職員が協力し合って作成して、展示された。運営推進会議時、外出の様子を、準備から帰ってくるまでの一連の流れについて説明した際には、市の担当者より、「細かな配慮がされていて、ご家族様も安心できるのではないかと思います」という感想をいただいた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 朝礼、ミーティングで学習し一人一人が身体拘束について把握しケアを実施している。ユニット玄関は常に開放し、日常生活においても拘束のないよう心がけている。また、言葉による拘束がないように職員同士が注意できる環境を作るように努めている。	
			(外部評価) 玄関の扉を開けておられ、ユニット入り口の扉には鈴等を付け、扉を開閉すると鳴るようになっていた。もしもの時のために、利用者個々の写真や特徴を書いた「緊急時ファイル」を用意されている。毎年、利用者が行方不明になった時の捜索訓練を実施されており、6月に実施した際に参加していただいた地域の方から、「デジカメで毎朝写真を撮り、服装が分かっていたら捜索しやすいのではないか」と提案があり、事業所では毎朝、利用者数名ずつが写るように写真を撮り、いざという時の備えをされている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング時、資料等で学習している。ケア方法がわからない時には、職員全員で話し合い解決するようにしている。職員間で利用者に対して言動で気になることがあれば、その場で注意し合うよう努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修、ミーティング等で学習はしている。利用対象となる利用者様が少ない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長、管理者が同席し、契約に関する説明を時間をかけて行っている。疑問や不安などある場合は、その都度説明を行っている。またトラブルのないよう文章にし書き留めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に意見、要望を言えるような環境作りをしている。ケアプラン作成時には、改めて、家族様、ご本人に意見要望を伺っている。また、運営推進会議、行事参加頂いたとき、意見を伺い、今後に生かせるようにしている。 (外部評価) 外出行事や事業所で行うバーベキューやそうめん流し、花火大会等、ご家族に参加していただける行事を多く計画して、ご家族が利用者と一緒に楽しく過ごす時間作りに取り組まれている。3ヶ月ごとに発行する事業所便りにて職員の紹介をされたり、家族会や運営推進会議時には、職員の異動について報告されている。ご家族の来訪時には、管理者や担当職員が近況を報告され、意見や要望等をお聞きしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 疑問に思う事は、その都度、管理者と話し合っている。その内容は、スタッフ全員とミーティングで話し合っている。ミーティングで意見を出し合い、業務がスムーズに行えるよう、統一事項も決めている。話し合う際は施設長、管理者に意見相談出来る、話しやすい関係性が保たれている。	
			(外部評価) 行事ごとと職員は交代で担当されており、外出先の下見に行く等して、計画を立てておられる。毎朝の朝礼に週2回、法人代表者が出席されて、職員は、気軽に意見や要望を伝えておられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者は休日希望、有給休暇の使い方についても前もって聞き、シフトを組まれている。超過勤務時にも残業手当を支給している。自己目標への反省を3ヶ月ごとに振り返っている。施設長も朝礼に参加し、職員の状況把握に努めている。職員とコミュニケーションを心がけておられ、働きやすい環境にある。	
			(外部評価) 今年度の企業目標として、職員のスキルアップのため、社外研修も含め一人が年4回の研修を受ける事を目標にしている。受けた研修に関しては、ミーティングで報告している。希望の研修に参加出来る様協力がある。また、管理者は、個人にあった研修に参加するよう勧めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度の企業目標として、職員のスキルアップのため、社外研修も含め一人が年4回の研修を受ける事を目標にしている。受けた研修に関しては、ミーティングで報告している。希望の研修に参加出来る様協力がある。また、管理者は、個人にあった研修に参加するよう勧めている。	
			(外部評価) 積極的に研修に参加し、他施設との交流を行っている。ネットワークを通じて、同業者との交流を深めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 積極的に研修に参加し、他施設との交流を行っている。ネットワークを通じて、同業者との交流を深めている。	
			(外部評価)	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) サービス利用開始前に見学をして頂き、お話を伺うようにしている。安心して頂ける様努めている。一人一人に合ったケアが提供出来る様、アセスメントを良く読み込む事、気づいた事の情報共有化に努めている。不安が大きい時などは、傾聴するよう努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 施設長、管理者が十分に話しをお伺い、ユニットで担当者をもうけ関係作りに努めている。入居まえに、困っている事、要望を伺い可能な限り対応するよう心掛けている。入居後、担当職員がアセスメントに参加し、御家族と信頼関係を築ける様努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) アセスメント時、本人、御家族様の思い要望を伺い、必要としている支援を見極めるようにしている。ホームの生活に慣れて頂ける様なケアプランを作成し、全職員が情報を共有し、支援している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様の意見を尊重し、できる限り思いに添うように努めている。ホームのお手伝い(洗濯物干し畳み、料理の下ごしらえ、食器拭き等)は出来る範囲でして頂き、一緒に生活しているという思いを大切にしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ケアプラン更新時や面会時にお話を伺う様に心掛け利用者様にとってどのような生活が望ましいのか一緒に考えて頂く様努めている。月末にはお葉書で近況報告させて頂いている、写真も送り、行事に参加して頂ける様努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも面会して頂ける様、面会時間はきめていない。希望される方は、ハガキなどを書き友人と連絡を取っている人もいます。また、電話などして、関係が途切れないようにしている。本人の希望を聞き家族様の了承を得て出来る限り支援しています。 (外部評価) 居室にご本人が設置した固定電話や、携帯電話でご家族や友人に電話する方もいる。これまで島で生活されていた複数の利用者の方からは、「島に帰りたい」「お墓参りに行きたい」等の希望も聞かれ、職員は、ご家族に伝えるようにされている。さらに、利用者一人ひとりが「その人らしく」暮らし続けられるよう、懐かしい場所や思い出の場所等を探り、お話したり、出かけてみるような個別の取り組みもすすめてみてはどうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 個人で出来る事、皆で出来る事を把握し利用者様同士が良い関係でいられるよう支援している。トラブル発生時は、職員が間に入り、問題解決し、不愉快な思いが残らないよう、孤立しないよう努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 施設長、管理者、担当者は退居後も面会し、相談や支援に努めている。退居後も担当者からお便りを送り相談、支援に努めている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者様の全ての思いには沿えないが希望や意向はお伺いしている。また、耳を傾け把握に努めている。毎朝お供えをしたり、お小遣いをもちたい方は家族様と相談し、持てるようになった。思いを表出されない方は日々の関わりの中で思いをくみ取り、本人の意向に添える様努めている。	
			(外部評価) 「朝、もうちょっとゆっくり寝たい」「花が好き」「買い物に行きたい」等、利用者の好みや意向を職員はよく知っておられる。 職員は、利用者個々の思いや暮らし方の希望、意向等を知っておられるが、基本的に「みんな一緒に」という方針から、個別支援を行うことが難しい現状があるようだ。利用者一人ひとりがその人らしく暮らし続けることを支援することは、グループホームの特徴でもあり、利用者から得た思いや意向を大切に、介護計画につなげて個別で細やかな支援に取り組んでいかれてほしい。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントで生活歴、生活環境を把握している。職員は情報を共有し、同じ対応支援に努めている。御家族から趣味、特技、これまでのサービス利用について伺い、その人らしい生活が継続出来る様努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日課計画を作成し共通・個別ケアについてスタッフ間で統一した支援をずる。個別日誌・日報から個別情報(生活状況)の把握に努めている・ラジオ体操 散歩も、その日の体調に合わせて調整している。出来る事出来ない事を職員が把握し、共有、同じ支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、御家族から意見要望を伺いプランに反映させている。毎月5日までにモニタリングを実施、自分なりの評価や、検討すべき課題を持ち寄りカンファレンスを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時等には、担当職員が支援に対する希望等をお聞きしている。計画の作成は、担当の職員が中心で行なっておられるが、モニタリングは月に1度、職員個々に利用者についてモニタリングして、カンファレンスの時にそれを出し合って話し合い、計画の見直しは、基本的に3ヶ月毎にされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプランに上げている項目が出来る様支援しており、記録に残している。また、気づきや工夫した事も記録に残している。毎朝 朝礼にて職員全員情報を共有している。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人御家族の要望に応じながらも体調の事も柔軟な対応を心がけている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で情報交換を行い、地域の行事、活動の情報を頂いている。地域行事の参加を心待ちにしている人もいる。毎月のアロマセラピー、3~4月に一度のフラワーセラピーを楽しみに待たれる方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 24時間体制で対応して下さる。迅速な対応、気軽に相談が出来る関係を築けている。他病院受診時も情報提供を行い受診結果の把握に努めてられる。	
			(外部評価) 協力医療機関をかかりつけ医とされる方は、2週間に1度、往診があり、又、職員が同行して定期受診する方もある。他の医療機関をかかりつけ医とされる方の受診については、ご家族が付き添われている。すべての利用者において、発熱等の体調変化がある時は、協力医療機関が対応して下さるため、ご家族の了承のもと、入居時に利用者個々の身体状況等について、協力医療機関に情報提供されている。又、すべての利用者は、年に1度、協力医療機関で定期健診を実施されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム内に看護師が在籍している。小さな体調の変化も看護師に報告指示を仰いでいる。また、看護師より医師に報告している。昼夜問わず気軽に相談出来る関係にある。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) ホーム看護師が中心となり情報提供書を作成し、入院した医療機関に提出し、連携を計っている。入院中は施設長、管理者が見舞いに行き、病院から直接、回復状況の把握につとめている	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 契約時には重度化、常時医療行為が必要になった時の方針については説明しご理解を頂いているが、急変した場合は医師より家族に連絡されている。ホームでは看取りを行っては居ないが、出来る範囲で対応している。	
			(外部評価) 入居時、「最期までここで」と、希望されるご家族が多いようであるが、管理者は、「医療機関の系列でなく、又、看護師が一人ということもあり、事業所では終末期の支援は行わない」ことを説明されており、又、「できる限りの支援を行い、次のところには責任を持ってつなぐ」ことを話しておられる。管理者は、ご家族に特別養護老人ホームの申し込みについて話をされることもあるが、今後のことについて具体的に話し合っている方は少ない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティング時に急変時の対応として心肺蘇生様マスクを使用、アンビューマスク、AEDを使用し、実践に即した対応しています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回 防災訓練を実施している。火災、地震、津波の想定で行っている。職員一人一人が自分の役割を実践している。今年 4月には地域の防災フェスティバルに参加し、利用者様も心配蘇生を実施された。	
			(外部評価) 5月に実施した火災による避難訓練は、1階を出火場所に想定して行われた。2階ユニットの利用者は、外階段を使って職員と一緒に降り、1階の利用者は、非常口より避難をされた。地域の自主防災会会長にも参加していただき、訓練を見学していただいた。地震等の自然災害に備えて、車のガソリンの給油を小まめにされたり、米・水・布団・毛布を備えておられる。	事業所では、今後、近所の方で、「いざという時に助けに来ていただける方を増やしたい」と考えておられる。これまで作ってきた地域とのネットワークを活かして、事業所の避難訓練時にも参加していただく等して、より具体的に協力体制を作っていかれてほしい。
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) トイレ誘導の際は小さな声、さりげない誘導で行う様にしているが、耳の不自由な方に大きい声で言ってしまう事がある。又利用者同士が口論になったとき、感情的になっていることがある。言葉掛け、対応において問題があった時には、その場で注意しあえる環境作りに努めている。	
			(外部評価) 職員は、「利用者の言葉を聞き逃さない」ことや「恥をかかさなない」よう対応することに気を付けておられる。日曜日の朝は、コーヒーやメロンソーダ、ココア等、数種類の飲み物の中から利用者個々に好みの物を選んでいただき、お茶の時間を楽しんでいただいている。パンのお好きな方が多いことから、週に1度は、朝食にパンの日を作ったり、木曜日はパン屋さんが来てくれて、好みのパンを購入し、おやつで食べる日になっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中の細かなところで、選択出来る環境を作っている。訪問パンの購入、日曜日の希望メニュー、飲み物の選択、入浴時の服選びなど自己決定の支援に努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	(自己評価) 午前中はある程度の日課は決まっているが、午後は思い通りに過ごされている。午前中の予定は、天気の良い日はラジオ体操後散歩、散歩も体調や希望により距離を変更している。日曜日は終日のんびり過ごされている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お化粧をされる方、ヘアカラーをされる方がいらっしゃいます。衣服はなるべくご自身を選んで頂けるようにしている。お化粧をされていたり、ヘアカット、ヘアカラー後始めてお会いするときには声をかけるよう心がけている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 旬の食材を取り入れるようにしている。食べきれぬ量、食べやすい大きさなど、個別に支援している。全員下膳して頂いている。介助が必要な方も職員付き添いにて下膳されている。日曜日の昼食は希望メニューの日とし、皆様楽しみにされている。	
			(外部評価) 週3回、昼・夕食の6食分は業者の決まったメニューの中から、職員が利用者の好み等を考慮して選択し、配達してもらっている。その他の日は、職員と利用者が一緒に食材の買い物に出かけ、調理をされている。法人の畑で採れた野菜もよく利用されている。調査訪問時は、事業所で食事を手作りされており、職員がおかずの中のズッキーニやかぼちゃ、青しそ等を「畑で採れたものですよ」と説明されていた。又、当日は、土用の丑の日でもあり、鰻のイラストや「夏を乗り切りましょう」と書かれたカードが食事に添えられてあった。日曜日の昼食は、順番に利用者一人ひとりの希望をメニューに採り入れておられる。利用者は、ご自分の順番が来るのを楽しみにされている。調査訪問時、食前の口腔体操の後、職員が「今日は何の歌を歌いますか」と利用者に関わりかけられ、数名の利用者が「七夕」と答えられ、皆で歌を歌う様子がうかがえた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) カロリー計算した宅配食材を利用しそのメニューを参考にし、希望を取り入れたメニューを心掛けている。体重の増減や体調の変化に合わせて食事量など対応している。水分補給は時間を設け十分な水分量を確保している。また、個人に合わせてご飯の量を決めている人、刻みの方、お粥の方、軽い器で提供している方など状況に応じて対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアの声掛けを行い、ご自分で最後まで磨けない人は仕上げ磨きをしている。週一回義歯洗浄剤を使用し清潔に心掛けている。歯間ブラシを使用する人など、個々に応じたケアをしている。口腔ケア時、食事の様子で異変に気付くと歯科受診依頼している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を元々に個々の排泄パターンを把握する。尿意・便意の表情、仕草などに注意する。出来る排泄動作はご本人にしていだく。便秘傾向の方は、朝食終了後、トイレに座って頂き、腹部マッサージを実施、排便を促すようにしている。ご本人と相談し、夜間のみトイレの声掛けをしている方もいる。	
			(外部評価) 事業所では、できるだけトイレで排泄できるよう支援されている。入居時、リハビリパンツにパッドを使用されていた方も、排泄パターンを把握して声かけ等を行うことで、布パンツにされたり、パッドの当て方が上手くいかなかった方は、その都度説明することで、3ヶ月ほどでご自分で上手く当てられるようになり、トイレ動作が自立した方がおられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 朝はヨーグルト 10時は牛乳を使用したカフェオーレと毎日乳製品を飲んで頂いている。朝食後 必ずトイレに座って頂き自然排便を促している。排便困難時 腹部マッサージを実施している。また、水分補給はこまめにして頂く。散歩等運動することで 便秘予防に努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 公平に入浴して頂くよう、曜日、時間帯は決まっているが、順番は希望をお聞きしたりその日の体調により変わっている。当日入浴出来ないときには、次の日に入浴して頂いている。湯船にゆっくり入って頂く様にしている。	
			(外部評価) 基本的に午後からを入浴時間とし、一日おきに入浴できるよう支援されている。入浴時間等について利用者からの希望は今のところないようだ。一人で入浴することを希望する方は、職員は扉の外から音等を聞きながら待機されている。5月の節句には、菖蒲湯を楽しまれた。シャンプー類は事業所で用意されているが、お気に入りのシャンプー等を使う方もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 午前には体操、散歩など適度な運動をして頂いているが、午後からは思い思いに過ごされている。お昼寝をされる方もいる。自己主張出来ない方、移動に介助のいる方は意向を聞くようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>薬事情報を読み薬の理解に努めている。(特に副作用について)服薬ミスのないようにマニュアル通り声を出す。氏名、日付、〇〇後薬、〇〇前薬など。臨時処方には特に注意を払っている。臨時薬は日報に赤で記入している。</p>	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>個々の生活歴に添った趣味などを本人・家族に聞き取り楽しみや気分転換が図れるよう努めている。庭で花の手入れをしたり、出来た野菜を収穫し楽しませている。行事の時に出るノンアルコールビールを楽しみにされている方もいます。毎日、家事仕事を進んで下さる方もいます。カラオケが楽しみな方もいます。</p>	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>雨天時以外は毎日散歩に出かけ、気分転換を図っている。季節を感じて頂く為に月一回は、外出するようにしている。お寿司を食べたいと家族様と外出される方、病院受診後娘宅に戻り昼食を食べて帰られる方はいるが、個々の希望に添った外出は出来ていない。ホームの買い物時 希望を聞きながら同行して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日常的には、ほぼ毎日のように全員の方が交代で事業所周辺を散歩されている。調査訪問時、帽子をかぶり、職員と一緒に散歩に出かけていく利用者の様子がうかがえた。月に1度は、全員で外出できるよう計画を立てておられる。いちご狩りや奥道後のさつき展、魚釣りをして釣った魚を食べられる食堂やキックボクシングの観戦等、毎年恒例となっている外出が多く、利用者からは、その季節になると「そろそろ行かんといかん」という声があるようだ。ファミリーレストランに外食に行かれることもあるようだ。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>現在 自分で管理されている方は3名です。お買い物同行時にご自分の好きな物を購入される方もいる。また、お孫様にお土産を購入される事が楽しみな方がいる。</p>	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自由に連絡が取れる様になっている。電話希望がある場合にはスタッフがかけかわるようにしている。毎日定期的に決まった時間に電話をかけてきて下さる家族さんもいる。親戚・家族に手紙・年賀状を出される方もいる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>庭には季節の花が咲き、旬の野菜も出来ている。リビング窓から眺め楽しんで居られる方もいる。又、向かいの山の草木も見えます。リビングテーブルには常時 季節の花が飾られている。年中決まった時間には換気を行い、加湿器により湿度調整もしている。トイレ、浴室はマーク表示している。居室のれんは各自、柄が違っている。玄関、棚には生け花や季節のタペストリー、オブジェが飾られている。掃除には特に気を遣い清潔感があるようにしている。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>事業所の前の道は通学路で、小学生が手を振ってくると、窓越しに利用者が手を振り返すこともしばしばある。玄関を入ると、壁一面の大きさの、ひまわり畑のタペストリーをかけてあり、壁掛けの一輪挿しには、利用者が散歩の途中で摘んだマリーゴールドの花が生けられてあった。ユニットの入り口には、職員の写真と名前をコルクボードに貼り、ご家族が来られた時に見られるようにされている。ご家族からいただいた金魚やめだかの泳ぐ水槽やガラス鉢があり、餌やりが日課になっている利用者がおられる。廊下の一角にソファがあり、一人でちょっと休まれる方もある。午後からは、洗濯物を畳んだり、テレビを囲むように置いてあるソファに座り、テレビを観る利用者もおられた。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>ソファに座ったり、自席に座られたり、廊下壁側に座られたりと思いいの場所で過ごされている。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>自宅よりご自分が慣れ親しんだ物を持って来られている方もいる。家族写真を写真立てに入れたり、ホームでの写真をボードに貼られたり、フラワーセラピーの作品を飾られる方もいる。それぞれが、思い思いのお部屋にされている。なくなられた家族の写真を飾り、毎日お供えをされている方もおられる。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>居室の壁のコルクボードには、外出時の写真や誕生日に職員が送ったバースディカード等を貼っておられる。ぬり絵や書道の作品を貼っておられたり、カレンダーに予定を書いておられる方もあった。フラワーセラピーで作った花を飾っておられた。利用者個々にアルバムが置かれてあり、ご家族や職員と一緒に、アルバムをめくりながら思い出話をされるようだ。毎朝、洋服をご本人に選んでいただけるよう、ハンガーに服をかけておられる。利用者は、洋服を選んで「これどうですか」と、職員に相談されたり、職員がコーディネートのアドバイスをされる場合もある。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>玄関・トイレ・廊下・浴室には手摺りが設置され、自立支援につなげている。ご本人が出来る事、出来ない事を把握し見守りで出来る事を増やすような支援を心掛けている。その為には、スタッフが皆同じ対応が出来る様にケアの統一に努めている。居室やトイレもわかりやすく、のれんや案内表示を行い、自立した生活が送れるよう工夫している。</p>	